

## 【WHO 神戸センター ローゼンバーグ博士による講演】

2025年7月10日(木)、国際科2年生を対象にWHO神戸センター技官であるローゼンバーグ博士による英語の講演が、フェニックスホールで行われた。WHO神戸センターは、世界に8か所ある拠点の一つとして、1995年に設立され、翌1996年に正式に開所され、アジアにおける拠点として現在に至っているが、設立から30年になる2026年3月末日をもって閉所されることになっている。葺合高校の国際科の生徒たちにとって、今回が最後となる記念すべき講演であった。

今回の講演は、WHOが国際的な協力をもとに、いかに「健康」と向き合ってきたか、その足跡を辿り、理解を深めるのが目的であった。1945年に国連が設立され、1948年に開設されたWHOの歴史の中で、画期的なことは、2000年から15年間にわたって導入されたMDGs(Millennium Development Goals)の国家間の「健康」が、グローバルな視座に立つグローバルヘルスへと大きくシフトしたことであり、それがSDGsとして現在に至っている経緯を話された。さらに記憶に新しいコロナ禍についても分析を加えて言及された。

次いで、WHO憲章を示しながら、「健康」の定義を、単に病気に罹患しないだけでなく、精神的にも社会的にもよい状態を指すものであると話され、「公衆衛生」が、人々の健康の状態を保持し、守るという重要な概念であることを示された。それを維持するための任務をWHOは担い、その役割は非常に重要であり、いろいろな国々との連携や協調、そこにおけるリーダーシップを発揮することもその役割の重要な部分であるとされた。

生徒たちは、WHOを通して、「健康」、特に「公衆衛生」の概念に深く感銘を受けたようであった。生徒から、ローゼンバーグ氏へ、神戸センターの任務や、将来のキャリアに関する質問がなされた。また、「国際科で社会の現状を色々学んでいるが、それ以上に深刻な問題を取り扱っているWHOで働くには、もっともっと学びを深める必要があると思った。」といったことや、「WHOが定義する健康に、ただ病気になっていないだけではない、という考えが含まれていて、怪我や病気もなく、充実した人生を送り、真に健康でありたい。」と思ったという感想が寄せられた。

On Thursday July 10<sup>th</sup> 2025, Dr Megumi Rosenberg, technical officer at the WHO Centre for Health Development gave a special lecture to second grade International Course students at Fukiai High School. She came to the school offering expert information on the World Health Organization, and a brief history of international cooperation for health. Students were guided through the founding of the UN in 1945. Next, to the foundational period of the WHO in the 1980s, which saw the introduction of the Millenium Development Goals among various accomplishments. Finally, the current era of Global Health, where particular detail was given discussing and analyzing global approaches to the COVID-19 pandemic. Dr. Rosenberg provided unique insights on how WHO International Health Regulations allowed countries to quickly disseminate information on the novel virus, coordinate the release of global support solutions, and collaborate across borders in the race to create a vaccine. Students were encouraged to be inspired by the work of Dr. Rosenberg and the WHO, and were even offered advice for those considering a career at the WHO. Finally, some time was given for students to ask questions and discuss topics with greater scrutiny with Dr. Rosenberg, where students raised questions about WHO's local outreach in Kobe City and smallpox eradication.